

国語科学習指導案

単元名「自分の考えを広げたり深めたりできるように読み、ミニ論文にまとめよう」

教材名「夏の葬列」

令和4年○月○日(○) 第○校時 ○○○○教室

○○立○中学校 2年○組 指導者 ○○ ○○

I 単元の構想

1 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(1)エ ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。(2)イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や文末表現など思考に関わる語句について、理解している。 ・叙述を抜き出して考えの根拠とすることができる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。C(1)オ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を理解し知識や経験と結び付けて、自分の考えをもつことができる。 ・相手の意見を共感的に捉え自分の考えを再構築することに課題がある。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述を根拠として、自己の考えを積極的に伝えることはできる。

2 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ①抽象的な概念を表す語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ①進んで自分の考えを広げたり深めたりして、今までの学習を生かしてミニ論文に表そうとしている。

3 指導及び評価、ICT活用の計画（全6時間：本時第4時）

※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の設定と話の大筋を理解し、単元の課題をつかむ。(あ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 単元の課題：「彼」に救いがあるかについて読み解き、ミニ論文にまとめよう </div>			①
2	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動についての記述を比較し、「彼」の心情の変化を捉える。(い) 	●	①	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の時間的な設定と時間の流れを比較し、表現の効果を考える。(い) 	●	①	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・「彼」に救いがあるかについて、叙述と自分の経験を踏まえて話し合う。(本時)(あ)(い) 		●	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・「彼」に救いがあるかについて、ミニ論文にまとめ自分の考えを伝え合う。 			●
6				

活用する学習支援ソフト等	(あ) ロイロノート、(い) テキストマイニング
活用するコンテンツ等	なし

II 本時の学習（4／6）

1 ねらい 「彼」に救いがあるかどうかについて、文章を読んで理解したことを基に話し合い、自分の知識や経験と結び付け、考えを深めることができるようにする。

2 展開

主な学習活動	主な発問	指導上の留意点
<p>生徒の意識〔S〕</p>	<p>☆ICT活用<分類></p>	
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p><めあて> 「彼」に救いがあるのか、今までの学習をもとに自分の考えをまとめ、話し合おう。</p>	<p>☆初発の感想で集約したテキストマイニングを確認する。 <データ活用></p>	<p>○本時のめあてをつかむことができるよう、初発の感想が多かった「救いがない」について考えていくことを伝える。 ○本時のめあてを達成する見通しがもてるよう、前時までの学習「場面の移り変わり」と「心情の変化」について、振り返るよう促す。</p>
<p>2 立場を明確にした上で、個人の考えをまとめる。(15分)</p> <p>S：自分が殺したことに気付いたことで苦しみ続けるから、救いはないと思う。 S：「二つの死が自分の中で永遠に続くだろう」と書いてあるけど、このときの「彼」はどんな心情なのかな。 S：故意じゃなくても、他人を傷つけたときは、自分でも落ち込んだよな。</p>	<p>☆ロイロノートの付箋に、叙述を基にした根拠と、経験を基にした根拠を分けて記入する。 <思考の整理・可視化></p>	<p>○自信をもって考えをまとめられるよう、同じ文を読んでも考えは多様なものとなることを伝える。 ○考えの意図を明確にできるよう、心情に着目し、叙述や経験と結び付けるよう促す。 ○考えがまとまらない生徒には立場が明確にできるよう、「事実を知らなかったこと」は、はたして「救い」なのか問いかける。</p>
<p>3 まとめたことを基に、集団で話し合う。(20分)</p> <p>どのような表現に注目すれば、「彼」の心情をつかめるでしょうか。</p> <p>S：Aさんの言うように、事実を知らなければ、「彼」はずっと逃げていたのかもしれないな。 S：なるほど「二つの死が永遠に続くしかないのだ」と事実を知ったことで、自分自身と向き合えた部分もあると考えたのか。 S：最期の「逃げ場所はないのだ」「彼の足取りをひどく確実なものにしていた」にも、なにか意味が込められているかもしれないな。</p>	<p>☆ロイロノートの付箋から、自分の考えに影響を与えた付箋をコピーし、気付いたことを記入する。 <共有・思考の整理></p>	<p>○次時の学習のミニ論文作成時に考えを比較できるよう、友達の付箋で気になる考えをコピーしておくことを助言する。 ○より「彼」の心情に迫ることができるよう、語句に着目するよう問いかける。 ○共有が停滞しているグループには話し合いが深まるよう、「記憶の追放」「封印」「未来の別の夏」など過去と未来を示す表現に着目するよう促す。</p>
<p>4 本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。(10分)</p> <p><まとめ・振り返り> S：過去にとらわれていた「彼」が、自分の罪に気付いたことで余計に苦しむと考えていたが、友達「罪に気付いたことで、前向きに考えて生きることでもできるのでは」という意見は自分にはない考えで、はっとした。 ※【思判表・C(1)オ】に関する振り返り</p>	<p>◎評価項目【思】 ・ロイロノートの付箋の記述から、「叙述と自分の知識や経験を結び付けて考えを深めているか」を評価する。</p>	<p>○共有することで考えを広げ深められたことを確認できるよう、意見の相違に着目している振り返りを取り上げる。</p>